

■桃中軒雲右衛門(初代) 浪曲師。卑俗とされた浪曲を大劇場で演じ一世を風靡。"浪曲中興の祖"となるも、悲惨な最期。
とうちゅうけんくもえもん
明治6年政変 1873 = 群馬県西群馬郡高崎町で、地方回りの祭文語り吉川(山本)繁吉の次男に生まれる。母ツルは三味線弾き。本名山本幸蔵。

父母とともに上京して芝に住み、

明治14年政変 1881 = 8歳：
新体詩抄・ 1882 = 9歳：
_少年時代から父に教えられて、
_小繁と名のって浅草向柳原のヒラキに出ていた。

帝国憲法発布 1889 = 16歳：

足尾鉾毒始・ 1891 = 18歳：
貧窮のうちに結婚したが、生活苦のために妻は長男を連れて九州の実家へ帰るなどするうち、浪曲もヒラキから寄席へと進出し、浪花亭駒吉をはじめ、浪花亭愛造などが活躍した時代に入り、

日清戦争始・ 1894 = 21歳：
日清戦争終・ 1895 = 22歳：
白馬会・ 1896 = 23歳：
父が死去して、2代繁吉を襲名。横浜で三河家梅車(後の三河家一)の一座に加わり、
興行をしているうちに、梅車に虐待されていた妻お浜が不遇なのを知って同情、
子規句歌革新 1898 = 25歳：
遂に駆け落ちし、関西へ向かう車中で、沼津の弁当屋の屋号と空を行く雲からヒントを得て桃中軒雲右衛門と芸名を改めた。

ビヲ国産化・ 1900 = 27歳：
_関西で知合った大陸浪人宮崎稻天が弟子入り、その力ぞえなどで九州に行き、

日比谷公園・ 1903 = 30歳：
*滔天や、福本日南、政治結社玄洋社の後援で「義士伝」を完成させ、曲師として絶妙の技をうたわれたお浜の三味線の協力で、浪花節を格調高い劇場芸に仕立て、やがて九州全土を席卷、

日露戦争終・ 1905 = 32歳：

韓国反日暴動 1907 = 34歳：
*「義士伝」を引っさげ、神戸の大黒座を皮切りに東上し、東京公演では、本郷座の檜舞台にたち、武士道鼓吹を標榜して東都の人気をさらい、爆発的人气。

伊藤博文暗殺 1909 = 36歳：
-

明治天皇没・ 1912 = 39歳：
*歌舞伎座で独演会を開くなど、その絶頂を極めたが、
1913 = 40歳：この頃、*肺結核に罹り、それまでの放蕩が祟って極貧生活に陥り、
_かつての弟子・宮崎が自宅に引き取って看病した甲斐もなく、
民本主義・ 1916 = 43歳：
_没した。